



平和統一 NEWS



FPU 兵庫
機関紙
第 132 号

F P U 兵庫
〒650-0022 兵庫県神戸市中央区元町通 7-1-2
ネオアーシュ神戸元町 1001 号
TEL. 078-360-0757 FAX. 078-367-4323
HP : <http://fpuhg.main.jp/>
E-mail: hyougo-2017@fpuhg.main.jp

発行 FPU 兵庫
発行人 文 聖 純
2020 年 4 月 1 日

2020年1月15日(水)に神戸のエスタシオン・デ・神戸にて「2020年度兵庫県韓国人合同新年会」が開催されました。

当日は、駐神戸韓国総領事館 朴起準総領事、荒木一聡兵庫県副知事、久元喜造神戸市長、加田裕之参議院議員をはじめとする国会議員の



方々、山本敏信日韓親善兵庫県議連会長をはじめとする県議会議員団、吉田謙治日韓友好神戸市議連会長をはじめとする神戸市会議員団、宋賢美神戸韓国教育院院長、三原修二兵庫県日韓親善協会会長、花岡俊也近畿産業信用組合理事・神戸支店長をはじめその他行政、企業、外国人団体、NPO等から多くの来賓の方が参席されていました。



アカペラグループBe in Voices(ビーインヴォイス)の歌で幕が開かれ、民団兵庫の李圭燮団長と在日韓国商工会議所兵庫の趙珉一会長の主催者の挨拶が終わった後、朴起準総領事、荒木一聡副知事、久元喜造神戸市長から祝辞がありました。その後、兵庫県日韓親善協会の三原修二会長の乾杯と挨拶の後、和やかな歓談の時間へと続きました。そして、Be in Voicesが再登場し、会場を盛り上げてくれました。

われわれも参加して有意義な時間を持ちました。

2019.1.27(日) 兵庫県慶尚南道道民会が三ノ宮の第一楼で開催されました。

兵庫県慶尚南道道民会会長李相哲会長の新年の挨拶がありました。韓日友好の象徴として、2017年に「朝鮮通信使」がユネスコ世界記憶遺産に登録された事を受けて、全国的にそのゆかりある地域で多くのイベントが開催されてきました。兵庫県にも通信使の寄港先となった、現在のたつの市の「室津(むろつ)」と神戸市兵庫区の「兵庫津(ひょうごのつ)」はゆかりの地であり、今年度は通信使の友好交流の精神を伝えられる事業を計画して行きたいと考えています。皆様、ともに友好への想いを育んで参りましょうと挨拶



されそして駐神戸大韓民国総領事館朴起準総領事が参加され張忠男南海郡守をはじめとしたたくさんの方々が参加されました。



われわれ平統メンバーも一緒に招待を受けて行ってきました。多くの日本の議員と総領事民団団長など多数出席し、特に1920年生まれである前会長の100歳の誕生日記念ケーキカットがありました。

お父様と同じ年で、あのように丈夫な大人がいるのを見て、お父様がよりあのように長生きされたらどれほど良かったのだろうか？ 一人で寂しく心に描いてもみました。今日力強いメッセージと一緒にサムルノリ韓国民謡メドレーなどで楽しく有益な時間を過ごしました。

お知らせ・最近の状況の中、諸事情によりしばらくの間不定期での発刊とさせていただきます。発刊の時点でお知らせいたします。宜しくお願いします。

WORLD SUMMIT 2020

世界171ヶ国の前・現職の頂上120人を含む各界の指導者が一堂に集まり、世界平和と韓半島の統一を議論するワールドサミット(worldsummit) 2020総会が2月3日～5日まで、京畿道高陽市にあるKINTEXで天宙平和連合(UPF)の主管で開催された。UPF創設者である世界平和統一家庭連合韓鶴子総裁をはじめ、フン・センカンボジア首相、潘基文前国連事務総長、イ・ジュヨン国会副議長、ニュートギングリッチ米国元下院議長、世界平和女性連合文善進世界議長トーマス・ウォルシュUPF議長などが参加、意見を交わした。全世界で進行中の平和運動を支援するためのマザーファンデーション(Mother Foundation)の創立式も開かれ、各分野の主要な団体に資金が渡された。「共生・共栄・共義を通じた世界平和の実現とした半島統一」をテーマに開かれた。この日の総会での特別演説で韓総裁は「宗教、人種、文化、思想の壁が作られ、人間中心の利己主義が原因で美しい地球が疲弊している」とし「今でも私たちは創造主、天の両親を連れて地球を本来の状態に戻さなければならない」と強調した。総裁はまた、「人間中心の思想や理念では一つにすることができない。すべての国が神様の元で一つになれば、それ以上の戦争と葛藤はないだろう」と語った。主な参加者も、会議が平和実現方案を模索する重要な契機になる事で認識を共にした。フン・セン首相は祝辞で「今回の総会のテーマに関連する平和と安全保障、持続可能な発展は、私たちのすべての共同課題」とし「全世界



が可能性を最大限に発揮して繁栄を追求しなければならない」と強調した。潘総長は「国家間の対立、宗教的葛藤に恒久的な平和を達成するのが大変な状況でワールドサミットの開催は非常に重要で、特に朝鮮半島の統一の議論はとても意味がある」と述べた。この日のキンテックスでは、韓総裁の自叙伝『平和の母』(キムヨン社)の出版記念会と「マザーファンデーション」創立式も開催された。家庭連合は「自叙伝には、平和の世界を作る為に生きてきた韓総裁の生涯を記録した」と

愛があふれる世界のために生きてきた平和の母韓鶴子総裁その感動的な生活と涙の旅

貧困と飢餓、紛争と苦痛が消える世界のために人種・宗教・国家の壁を崩し、平和の世界を成すことは、私の望む生涯の願いです。

世界のあちこちを歩き回って超宗教超国家平和運動を推進してきた女性の指導者韓鶴子総裁は、神の夢の完成を胸に抱いた子供の頃から、文鮮明総裁との結婚、そしてアジアとヨーロッパを経て、米国と南米、アフリカに至る数千回のイベントと数百回の世界巡回講演まで平和の母として休むことなく、世界の平和の道を掘り起こしていく崇高で感動的なドラマ、世界を救う女性指導者として対処しなければならぬ逆境と苦難、そして命をかけてきた、愛と献身の話、平和の母、韓鶴子総裁の伝記

『平和の母』が出版されました。



多くの愛読を期待します。



第4回鮮鶴平和賞



平和と福祉に貢献した個人や団体に与えられる第4回鮮鶴平和賞が、セネガル共和国のマッキー・サル(Macky Sall)大統領と「Religions for Peace」の国際名誉会長であるムニブ・A・ユナン司教(Munib A. Younan)に授与された。創設者である文鮮明総裁の生誕100周年を記念した「創設者特別賞」は潘基文・前国連事務総長に授与された。鮮鶴平和賞委員会(委員長 洪一植)は創設者である世界平和統一家庭連合韓鶴子総裁と洪委員長をはじめ、100カ国の指導者5000人余りが参加した中で、5日KINTEXで「授賞式を開いてユナン会長とサル大統領、潘総長にそれぞれ50万ドル(約5億9000万ウォン)の賞金とメダル、プラークを授与した。

委員会は、「サル大統領は、経済復興を耕しながら、民主主義を拡散させている功績が認められた」

とし「ユナン会長は 40年以上、中東地域でユダヤ教、キリスト教、イスラム教の和合を促進してきて、特に、イスラエル・パレスチナの紛争解決の先頭に立った」と選定理由を明らかにした。洪委員長は潘基文・前国連事務総長に対して「国連事務総長を務めて、気候変動の深刻さを世界の人々に大きくアピールした」とし「2015パリ気候協定」をもたらし、すべての国が共同で推進していく発展目標を採用して、提示した」と評価した。潘総長は受賞演説で「自国優先主義が広がって人権が脅かされている」とし「このような時代に対処するために、拡張されたパートナーシップだけではなく世界の市民権を鼓吹しなければならない」と述べた。彼は引き続き「今後10年の間に、私たちがとる措置は、人類と地球の未来の生存に非常に重要」とし「私たちは、真の平和を輝かせるために努力しなければならない」と強調した。

サル大統領は国内の日程で出席できず、アマドゥバ・セネガル外相が代理で授賞式に出席(二写真下)。ビデオメッセージを寄せたサル大統領は、鮮鶴平和賞を受賞した感想を「平和と人類の兄弟文化を作りなさいという奨励の意味と考えている」とし、「この賞をセネガル国民に捧げたい」と述べました。また、賞金全額をアフリカ連合(AU)の平和基金に寄付する考えを示しました。

ムニブ・A・ユナン司教は「平和は性別、人種、宗教に関係なく、相手の尊厳を尊重することにかかっている。我々は、すべて神の子供である」と強調した。ムニブ・A・ユナン司教が受賞したのは、



生涯キリスト教とイスラム教、ユダヤ教の間の対話を促進し、和解を導いた功労を認められたからである。彼は1950年に、これらの宗教が聖地としているエルサレムで、パレスチナ難民に生まれた瞬間、定められた運命と言えるかもしれない。パレスチナで育ったムニブ・A・ユナン司教は、1976年牧師按手を受けルーテル牧会活動を開始した。韓国は信者の数が少ないが、ルーテルは「宗教改革の父」マルチン・ルターの宗教改革以来、初めて歴史に姿を現したプロテスタント派である。ドイツとノルウェー、フィンランドなどがルーテルを国教としており、全世界の信徒が1億人に達する世界最大のプロテスタント派である。

2010年ルーテル世界の連盟の議長に上がった彼はルターの宗教改革500周年の2017年の記念式に史上初めて、ローマカトリック教

皇の参加を導き出し話題を集めた。ユナン会長は、イスラエルとパレスチナの問題解決の先頭に立ったことでも有名である。また、ルター教主要教義文書である「アウクスブルク信仰告白書」をアラブ語で最初に翻訳して、キリスト教とイスラム教の間の理解の促進に貢献した。

ユナン会長はこの日、世界日報の記者と会って、世界各地で宗教対立に戦争が絶えないことについて、「宗教対立ではない。宗教を前面に出した政治対立」と「宗教は対話と定義、共生のために存在する。宗教の役割とは人種、民族、政派すべてに共通の価値を追求するものである。特に宗教的過激主義を排撃して、お互いが共生できる土壌を用意しなければならない」と述べた。

彼は続いて「宗教と政治の距離」は不可分である。不正の状況では、宗教が出て、これを言及しながら、社会のガイドの役割をしなければならない。特に人種主義差別、非倫理などについては強く抵抗してヒューマニティに基づくコミットメントのメッセージを出さなければならない。これも宗教の役割」と強調した。

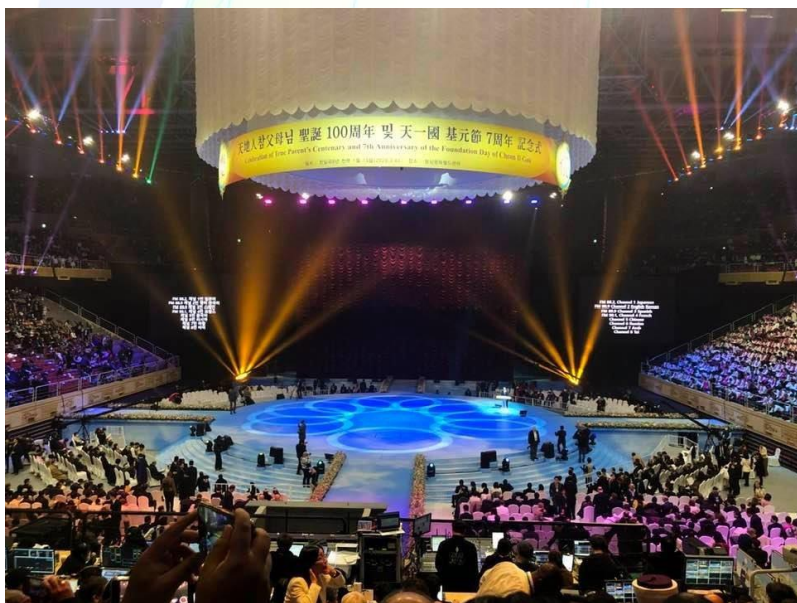
ユナン会長は、韓半島の統一問題にも関心が高い。彼は「ムン・ジェイン大統領就任後、3回南北首脳会談があったことは非常に注目すべき進展」とし「結局、南北は一つであり、家族である。分断は常に悪いもので、統一は必然的なものである。より段階を踏んでいくと、いつか一つになる」と述べた。

ユナン会長は、まだ自分自身を「難民」と称し難民のアイデンティティを忘れないようにしようとしている。彼は「難民と祖国に背を向けたのではない」としながら「難民を助けることは正義と平和のための仕事」と力を込めた。

ルーテル世界の連盟は、ケニアとヨルダン、パレスチナなど世界各地に難民キャンプを運営している。ユナン会長は続いて「アジアとアフリカの多くの国がまだ貧困の中に生きている。彼らは植民地支配は脱したものの、まだ植民地化されている。強大国の米国が、それらの国が成熟し平等な市民社会を構築することを妨害してはならない。成熟した市民社会の構築に宗教が役割を果たすことができると考えている」と付け加えた。

ユナン会長は「ルーテル教人そして、パレスチナ難民としての権威ある賞を受けたことの栄光を表す。この賞の受賞が、宗教間の対話と平和構築という神聖な道の終着地ではない。むしろ平和の証人であり、定義の代理人、オンプズマン、和解の働き人、愛の使徒になろうとする動機が大きくなることを感じる」という言葉で受賞の所感を締めくくった。

「2月6日、世界平和統一家庭連合韓鶴子総裁の宣言と一緒に3万人の歓声と拍手があふれる式典が加平郡平和ワールドセンターで開かれた



「天地人真の父母様のご生誕100周年と天一國基元節7周年記念式」記念式が開かれた。韓総裁は2013年基元節(旧暦1月13日)に、天一國の新しい歴史を始めようと提案したことがある。「全世界の70億の人類に代わってここに集まった祝福家庭は今 天一國の新しい歴史を迎え、天が私たち人類を胸に抱くまで総力を尽くして捧げることを約束しますか?」と述べられた。韓総裁の天一國定着宣言は、過去7年間世界各国を回って「自由と平等、平和と統一の世界」天一國の理想を伝えた努力が実を結んだことを内外に確信したものである。この日の記念式には、ジミー・モラレス前、グアテマラ大統領、フェ



デリコ・フランコ前パラグアイの大統領夫妻グッドラックジョナサン・ナイジェリアの大統領など3万人が参加した。特に米国ドナルド・トランプ大統領夫妻が「中断のない情熱と決意に感銘とインスピレーションを受けている」という内容の祝電を送ってきた。

北朝鮮のキム・ジョンウン委員長も文鮮明総裁の生誕100周年記念メッセージと花輪を送ってきた。

そしてグアテマラのジミー・モラレス前大統領が文師生誕100周年を祝賀し、祝辞で、5日までソウル郊外の展示会場「KIN TEX」で開催された世界サミット2020の成功を祝した上で、世界平和のため生涯をささげた「真の父母様の大勝利を共に祝いします」と述べた。また、ディック・チェイニー元米副大統領は祝賀ビデオメッセージで、文師夫妻が創設した世界日報の姉妹紙ワシントンタイムズ紙について「米国市民はもちろんのこと、全世界が大切にしている自由と信仰、家庭為に生きる価値観を広げ、バランスの取れた報道と論評の基準を立てることに核心的な役割を果たした」と評価。「どのような課題が発生したとしても、自由民主主義の国家が共に協力し合うとき、より良い結果を期待することができる」と述べ、自由主義陣営の結束を呼び掛けた。

World Summit 2020国際科学統一会議が4日高陽市KINTEXで開かれた。



第26回国際科学統一会議 (ICUS) に参加した世界的な碩学たちは議論の末、「環境を維持しながら飢餓問題を解決することができる」との結論に至った。参加者は、それぞれの科学的な証拠を提示し、環境保全と飢餓の問題を討議した。飢餓撲滅キャンペーンを繰り広げる米国研究所のアンドリュー・スミス博士は、

「1960年から2000年までに世界の食糧生産量は2倍になったが、2080年になると、世界の人口は20億人以上増加する」とし「飢餓問題はより深刻になり、他の一方では、多くの人に食糧を提供する過程で、環境が破壊されている」と指摘した。ラタンラル米オハイオ州立大学教授は「土壌を誤って使用して復元力が落ちた結果2100万人が飢餓に苦しみ、内戦や戦争が起きている。政治的平和のために土壌汚染の問題を一番最初に解決しなければならない」と力説した。ラル教授は続いて「土壌有機物を維持と管理と作物の病気の発生率が減れば収穫量が増える」とし「土壌をはじめ、資源を利用する方法を画期的に変えなければならない」と付け加えた。生ごみ問題の深刻さも指摘した。ダニエルアーロンバグ米フードバンク会長は「生ゴミは、温室効果ガスの3倍の量」と「食糧生産が増えているのに飢餓の問題が生じる今、食べ物が正しく流通されれば、生ゴミの問題と飢餓問題とが決されるだろう」と声を高めた。この日の会議では、「環境問題の解決には、自然に対する人間の意識と態度を変化させ、本来の関係を回復させることである」という内容の環境宣言が採択された。

午後に行われた世界平和の国会議員連合総会では、元・現職国内外の議会の議員たちは、共生・共栄・協議による世界平和の実現と韓半島の平和の重要性を強調した。国会外交統一委員長の自由韓国党のユン・サンヒョン議員は開会の辞で「韓半島平和のために、世界中のすべての国が北朝鮮に対する国連制裁を遵守しなければならない」とし「現在、ムン・ジェイン政府は、北朝鮮への個々の観光政策を継続押し通している。これは、国連の制裁決議案に対して背く」と指摘した。それとともにユン議員は「予防的外交」が必要だと提案した。彼は、「予防的な外交は多くの国が互いに協力を促進し、国際的な協力の平和をなす方法」とし「北朝鮮の非核化のための国際社会の協力は南北の関係を増進させるだけでなく、国際社会北東アジア朝鮮半島の永遠の平和を持って来る重要な方法だ」と話した。

ダンボタン元米国下院議員は、「北朝鮮の核問題の解決は、世界的にとっても重要な問題」とし「多くの国が核を持ってはならない。そうでなければ、過去ホロコースト問題のように深刻な問題が発生するだろう」と憂慮した。ボタン前議員はまた、「文鮮明・韓鶴子総裁は家族間の強い絆が平和を成す重要な場」とし「すべての国が宗教問題を超越して、健康で幸せな家庭を築くことは、非常に重要な問題だ」と指摘した。小野寺前日本防衛相は「国防力や外交力よりも重要なのが人間関係」と「平和をなす方法として、人間関係、すなわち、人間による平和の力が重要である。それを私達がより強調しなければならない」と主張した。また「文・韓総裁は家庭生活の重要性を着実に強調した」とし「天宙平和連合 (UPF) 活動を通じて愛と平和を図る必要がある」と明らかにした。



가족의 총화

홍일식

전고려대학교 총장.

선학평화상 위원장

家族の総和

洪 一植

前 高麗大学校 総長

鮮鶴平和賞の選考委員長

얼마 전 일요일이었다. 늘 바쁘다는 핑계로 부모님께 잘 해드리지 못하는 죄책감도 있고 해서, 모처럼 내외분을 모시고 나가 점심을 대접해드리기로 했다. 생각해 보면 지금 내 나이에 양친을 함께 모시고 있는 사람이 몇이나 되라 싶어 가벼운 행복감을 느끼는 것도 사실이다. 평창동 어디에 냉면을 썩 잘한다는 곳이 있다가에 찾아 갔더니, 보통 냉면집 치고는 대단히 크고 호화로운 집인데 아래 윗층이 온통 초만원을 이루고 있었다. 별관이라는 데로 가라기에 옆으로 돌아가 봤더니 거기 역시 입추의 여지가 없었다.

심지어는 그 건물 옥상에까지 식탁을 놓고 손님을 받고 있었다. 할수없이 우두커니 서서 기다리려니 팔십이 머지 않은 아버님께 송구스럽기 그지 없어 마치 죄진 사람 모양 빈자리만을 기웃 거리다가, 모처럼 제가 효도 좀 하려니까 이 모양이군요 “하고 어색한 사과를 했다. 식당 안에는 연기와 고기 굽는 냄새가 가득한데 불갈비며 불고기, 그리고 방금 부친 기름이 지글 지글 끓는 빈대떡을 모두들 탐스럽게 먹어 대고 있었다. 나는 이 모습을 물끄러미 바라보다가 무심코 아버님을 향하여, “이젠 우리 나라 사람들도 전과 달라서 잘 먹고 잘 살게 되었지요...” 했다.

그랬더니 아버님의 태도가 의외로 냉담해서 다음 말을 차마 잊지 못했다. 얼마간의 무안한 시간이 지나서야 겨우 한쪽 머리에 자리가 나서 모시고 앉았다. 음식을 드는 동안 나는 아버님의 표정을 조심스럽게 살펴 보았지만

어째서 이 어른이 갑자기 기분이 언짢아 지셨는지 도무지 알 수가 없어서 좀 불안스럽기까지 했으나 별 도리가 없었다. 평소 아버님의 성품과 도량으로 봐서 자리 때문에 얼마간 기다리시게 했다고 해서 그러실리는 만무하고, 음식을 다 먹고 나오는데 아버님 다시 돌아서시더니 그 넓은 홀 안을 휘둘러 보신다. 그리고 밖으로 나오셔서 비로소 입을 여신다.

先日の日曜日。いつも忙しいからと理由をつけて、御無沙汰している両親を招待して、昼食をごちそうした。考えてみれば、今の私の年齢で両親に対して食事を用意してもてなすという行為をすることに對して幸福感を感じたことは事実である。

平倉洞で冷麺がとても美味しい場所があると聞いていったら、冷麺店としては非常に大きく、豪華な家なのに超満員であった。別館があると聞き、行ってみたら、そこも立錫の余地がなかった。

さらには、その建物の屋上まで食卓を置いて客が入っていた。仕方なくぼんやり立って待っていると、80歳に近い父に申し訳なく思い「せっかく、私が親孝行をしようとしたのですが、こんなことになりました」とごちない謝罪をした。

レストランの中には、煙と肉を焼く匂いが充満していて、牛ガルビと焼肉、そして揚げたてのピントックをみんな美味しく食べたていた。

私は、この様子をじっと眺めて思わずお父さんに向かって「私たちの国の人々も以前と違ってよく食べ、豊かに生きようになりました...」といった。

すると父の態度が意外に冷やかで、次の言葉をどうしても続けることができなかった。しばらく沈黙の時間が経過して、やっと席が空いたので、座った。食べ物を注文する私は、父の表情を慎重にうかがっていた。

どうして父が、無愛想なのかまったく分からなくてちょっと不安な気持ちになったが、しかたなかった。普段父の性格と度量からみれば、しばらく待たされたとしても不愛想になるはずがない。

食事を食べおわり、店を出るとき、父は再び広いホールの中を見渡したあと、外に出て初めて口を開いた。

“너 아까 우리 나라 사람들이 전보다 잘 살게 되었다고 했지?” 하신다.
“네.....” “잘 산다는게 대체 무어냐?
기름진 음식을 배불리 먹으면 그것을 가지고 잘 산다고 하는 거냐?”

“.....”
“내 지금 아래 뒤통을 다 돌려 봤다만 그 많은 사람들 중에 제 애비 에미 모시고 온 놈은 하나도 안 보이더라. 모두 제 계집 제 새끼 만 거느리고 와서 정신없이 먹는 것을 보니, 전보다 잘 살기는 커녕 점점 짐승처럼 변해가는 것 같다. 그런데도 네 눈에는 그것이 잘 사는 것으로만 보인단 말이나? 소위 남의 자식을 가르친다는 네 눈에까지 그렇게 밖에 안 보인다니 참 한심하다.”

어리석은 나는 그제야 이 어른이 침통해 하신 이유를 알았다. 그리고 보니 참 노인을 모시고 온 사람을 별로 본 것 같지가 않다.

그로부터 얼마 후, 남재 (南齋) 선생을 모시고 담소하는 자리에서 무슨 얘기 끝에 이 얘기를 했더니, 남재 선생 가로되,
“제 계집, 제 새끼를 데리고 가서 먹는 놈은 그래도 좀 나은 편일세. 남의 계집, 엉뚱한 계집 데리고 가서 먹는 놈이 태반이니 걱정이지. 해서 한바탕 웃었다. 판은 그렇다. 결국 사람이 잘 산다는 것의 가치 기준을 어디에 두느냐가 문제인데, 사람답게 사는 것이 보다 존중되어야하지 않을까.”

‘국민 총화’라는 거창한 구호를 외치기 전에 우리 각자가 모두 가족 총화부터 해야겠다.

오늘의 자식은 내일의 아버지요, 또 그 다음의 할아버지가 아닌가. 나는 그 날 아버님의 노여워하시는 얼굴에서 30 년 후의 쓸쓸한 나의 모습을 그려 보았다.
(1979. 6. “엘레강스”)

「お前はさっき、私たちの国の人が前より暮らしが良くなったと言ったな」

「はい」「よく暮らすとはなんだろう? 美味しい食べ物を腹いっぱい食べる事がよく暮らすというのか?」

「私は、まず上下の階を見て回ったが、その多くの人々の中に、自分の両親を連れて来た奴は一人も見えないよ。すべて自分の奥さんと子供だけ連れて来て夢中で食べているのを見ると、以前より暮らしが良くなるどころか、益々獣のように変わっていくようだ。それでもお前の目には、それがよく生きることだと言うのか。いわゆる他人の子を教えるあなたの目にまでそうとしか見えないなんて本当に情けない」愚かな私はようやく、この父の唇を通して語られた理由を知った。そういえば、身近な高齢者を迎えて食事をしている姿を見なかった。それからしばらくして、ナムジェ (南齋) 先生をお迎えして談笑する機会があり、最後にこの話をしたところ、ナムジェ先生は言った。

「自分の奥さん自分の子を連れて行って食べる奴は、まだ良い方だね。あかの他人で妻でもない人を連れて行って食べる奴が大半だから心配だ。それで、ひとしきり笑った。結局、人がよく生きることの価値基準をどこに置かが問題だ。人間らしく生きることがより尊重されるべきではないか。」

「国民総和」という途方もないスローガンを叫ぶ前に、私たちのそれぞれがすべての家族総和をしなければならぬ。

今日の子は、明日の父であり、またその次の祖父じゃないか。私はその日、父の怒る顔から、30年後の寂しい私の姿を描いてみた。

(1979. 6. 「エレガンス」)

歌集 『人工島』

横井 傘二

「大学生」

ガンジーに憧れ入りし大学の

漢字ばかりの東洋史料は

大学の下宿は御所の西に在り

水上勉の五番町

一畳が千円なりし下宿代

壁は緑に四畳半なり

夕に起き朝に眠りし学生は

数多の本を読めど進まず

酸い甘き女子高生を教えたる

我が半年の家庭教師は

銀行の受付なりし彼女なれ

後に噂で保母になりしと

一生の課題なるかも知らずいて

ドストエフスキーの一粒の麦は

四年経て結論出ぬ卒論は

毛沢東の「文芸講話」

大学の友は1人も出来ずいて

清水坂を下りし春は

ガンジーも毛沢東も打ち捨てて

神戸の会社に職を求めし

*この歌集は自叙伝的な要素を持つ歌集です。正直な気持ちで、できる限りその時その場所において、短歌にしたものです。最後まで読んでいただければ、幸甚に存じます。

交流の広場

韓国民話 龍女 2

阪神支部 支部長 尾道 宗継

鉄山に帰ってきたトゥチルが自分の家に行ってみると心配していたことが現実として目の前に起こっていた。トゥチルが何も言わずいなくなってしまったので、鉄山の郡守である副使は兵士を四方八方に送って行方を追跡する一方、彼の父親を牢獄に閉じ込めて息子の行方を白状しろと問責をしていたのだ。トゥチルは急いで鉄山の官庁に走って行って、副使の前に跪いてこれまで自分の身に降りかかった事柄を話し、許しを願った。しかし、トゥチルの話しが通じるわけがなかった。

「何、竜宮で暮らしたと？こやつ、逃げただけでは物足りなくて話にもならない饒舌で官庁の長を侮ろうとしているのか？」

怒り心頭に発した副使が警史に杖刑を処するよう命令すると、トゥチルはどうしようもなく女人からもらった龍鱗を副使に見せた。黄金に輝く龍鱗を見て副使の表情が穏やかになった。

「これが龍女からもらった龍鱗だということか？」

「私めがどうして副使様にうそを申し上げましょうか？」

トゥチルの返事を聞いて副使は考え込んだ。「これがもしかして本物ならお金では計算できないほどの大変な宝物ではないか！」副使の目が貪欲さを帯び始めた。

「これだけでは、お前の話を信じることができない。お前の潔白を証明したかったら本官に直接龍女の姿を見せなければならぬ。その時まで本品はここに保管しておく」

トゥチルは気が抜けてしまった。龍女が果たして彼の願いを聞いてくれるか自信がなかった。それに証明書としてくれた龍鱗まで取り上げられてしまって、どういう面目で龍女に会うか困り果ててしまった。

「期間は今月の十五日まで。お前の父親のことを考えてつまらないことを仕出かさなよう」

副使はトゥチルを放免しろと命じた後、その場を立った。

トゥチルはまた竜宮を訪ねていった。女人は相変わらず懐かしそうに迎え入れてくれただけでなく、トゥチルの泣き言を聞いて心が痛むのか涙まで流した。

「これ以上そんなところで苦勞せずに私といっしょにここで暮らしてはいかがですか？」

女人の勤めにトゥチルの胸はときめいていた。しかし、奴僕身分でどうして龍女の伴侶になることができるのか？

「お言葉は有難いのですが、父が牢獄に閉じ込められていて……」

トゥチルが言葉尻を曖昧にすると龍女は微笑を浮かべながらもそのことから処理しようといった。

約束の十五日の夜が明けた。鉄山の副使は兵士たちの包囲の中でトゥチルの案内を受けながら天王峰の山頂に向かった。鉄山の池のほとりは噂を聞いて集まった人たちでいっぱいだった。

「直ぐ龍が現れるでしょう。龍が姿を現す瞬間、皆さんは目をつぶらなくてはなりません。そうしないと大変な禍を受けるでしょう」

トゥチルは繰り返し人々に頼んだ後、池に向かって大声で叫んだ。

「チョルア、チョルア、チョルア」

その声に応えるように静まり返っていた池の水面が波立ち、空を真っ黒な雲が覆い始めると集まった人たちはおびえた表情で池を見つめていた。瞬間、水柱が空高く突き上がり、巨大な龍が姿を現した。

「龍だ！」

集まった人たちはみな驚き肝をつぶして頭を地面にこすりつけうつ伏せになっている中、鉄山副使だけは傲慢にも目をかっと見開き龍を眺めた。

「ウルル、クァン！」

落雷の耳をつんざくような轟きと共に怒った龍が天を飛び、副使の乗った馬が狂ったようにいなないたかと思うと地団太踏んで飛び跳ね始めた。慌てた副使が馬を静めようと力を尽くしたが驚いた馬の疾走をとめることはできなかった。馬は主人を乗せたまま水の中にドボンと飛び込み、助ける間もなくそのまま水の中に消え去ってしまった。あっという間に起こった惨事だった。

そんなことがあった後、鉄山の官庁に徳の篤い新任の副使が赴任してきた。新任の副使はトゥチルを奴僕身分から解放し、龍鱗もトゥチルに返した。その後、トゥチルは人々の前から姿を隠した。

トゥチルは次第に人々からも忘れられていった。

ある年、旱魃がひどくて田畑が干上がり、人々の心も動揺し始めた。副使は鉄山の池のほとりに祭壇を設けて雨乞いの祭祀をした後、雨を降らせてくださいという切実な願いを込めた手紙を池に浮かべた。その日の夜、副使の夢にトゥチルが現れて、直ぐに雨が降るから心配しないようにと言いついて去った。案の定、あくる日の朝早くから雨が降り始め、三日間降り続いた雨は旱魃を癒す以上の量だった。

それからは旱魃になった時は、鉄山の池に行き雨乞いの祭祀を行い、手紙を水に浮かべて「チョルア、チョルア、チョルア」と三回唱えると必ず雨が降るという話しが伝えられている。

申 日東（ツ イツ）の履歴（歴史とイデオロギーの狭間で生きた）(32)

申 日 東（元章）民族学校教職歴22年

この自分史は日東自らがアルツハイマーと宣告された後、殆ど盲目（0.02）で薄れ行く記憶を辿りつつ、パソコンの音声を頼りに書き下ろした文です。書き漏らしたことも多く、また重複した部分も沢山ありますが、短編集を読む感じで読んで下さい。

柿木(島根県)への恩返し

少年期の多感な頃を柿木の素朴で優しい人（先生、友人、村人）たちに育まれ、グレもせず、まともな人間に成長することが出来たことを誇りにしています。柿木は日東のまほろばです。二〇一三年七月二十七日、山口県の萩本陣にて柿木中学校六期生の同窓会を、萩本陣国際観光ホテルで、同窓生が七十七歳になったのを記念して大々的に催しました。遠くは横浜から三浦君が、大阪からは板垣君が、神戸からは日東など総勢二十八名の大宴会が繰り広げられました。特に日東は盲目なので妻（出田和美）に手を引いてもらう為、妻も特に参加させてもらいました。中学生時代の幼さの残る少年であった私達は皆、白髪の老人老婆になっていました。孫や曾孫が居る人もいました。その中で益田に出て飲食店を営んでいる、アッチャン（敦子）はまだ二十代のような若々しい気持ちと身のこなしで、同窓生を盛り上げてくれました。葛西君には神戸の長田で会って、その後どうしているのか気にかけていましたが、今は奥さんも亡くした。一人寂しく暮らしているとのことでした。息子さんは今も神戸の楠谷にまだ住んでいるとの事です。息子さんに会いがてら家（兵庫駅前）に遊びに来るように約束しました。その他、数々の懐かしい話や話題は尽きません。次にカラオケで思う存分、歌い踊りました。宴会の最後には全員が輪になって星影のワルツを歌いました。涙が出る程、嬉しくもあり、また悲しくもありました。八十人程居た同級生は多勢は亡くなり、脳梗塞で車椅子生活のため参加出来ない友人も多く居りました。皆、元気でまた会いましょうと言って帰りのバスで一人ひとり降り柿木へ戻りました。柿木へ戻り原田屋旅館で一泊し、朝早く近辺を散策しました。町は随分と変わっていました。小学校、中学校は移転して元の益田産業高等学校柿木分校に移っていました。小学校の溝には水質を浄化する為、鉄墨などをぶら下げていました。中学校には緊急避難場所の表示が掛かっていました。町の中心地が更地になっていたので歯抜けの様な寂しさを感じました。柿木一のイケメンだった薬屋の兄さんも白髪の老人で犬を散歩させていました。元あった私の家も跡形もなく、傍の堤防だけが空しく長々とそそり立っていました。日が差して暑くなったので宿へ戻りました。鮎釣りのお客さんが昨日釣った鮎をビクから取り出して氷水の中に入れていました。元気の良い鮎だけを氷水につけ、死んだ鮎は二〜三十匹を「鰻の餌や」、と言って高津川へ投げ込みました。「いやあ、勿体無いな」と思いました。十時に柿木から石見交通バスで広島まで戻り広島から新幹線で神戸に戻りました。

雲水（くもみず）の行方や何処（いずく）なるらん （69）

「温突（オンドル）部屋のこと」

元臨済宗東福寺派 京都総本山東福寺 塔頭 即宗院
曹 小 煥

一世を親として育った私は当然ながら生長期は一世文化で育てられ成長するはずであった。ところがそうではなかった。朝鮮半島を植民地化した日本帝国は本国はおろか、日本列島に渡来してきた人々の言語（文字）等や姓名まで奪い、民族の衣服まで着用禁止を勅令でもって1930年代に施行したのである。それは私が小学生のころであった。そのような時代背景の中で、仮小屋めいたトタン屋根の低い住居の一角を父と二人で朝鮮半島独特の部屋を暖かくする暖房装置を作ったことであった。部落のおじさん達は父に「日本官憲に知れると逮捕されるから止めとけ」と忠告するのだが父はものともせず、日が暮れると裏山から赤土を運んで来てはせっせと足で踏みならし赤土を粘土状にこね固めていた。私は近くの井戸からの水汲み役であった。その当時から早くも80年の歳月が通り過ぎたが、今、思うと父は貴重な温突部屋作りの名人だったようだ。やがて部落のおじさん達は父の持つ反骨精神に根負けしたのか、一人二人と一日の仕事を終えて帰ってくると手伝って呉れるようになった。父は無口であったが父に指図されると人々は黙々と床下に赤土を盛ったり、どこからか様々な大きさの石を運んで来ては父の指図通りに床下に石を並べた。幾筋かの石の筋を作り、その上に薄い長い板石を乗せた。そしてセメントと赤土をこねて塗った。その頃になると私の出番はなくなってただ離れた高見の場所から眺めているだけであった。やがてかまどの焚口から火をおこすと煙が床を通り、部屋の反対側の煙突から抜けていく。部屋は焚口から徐々に暖まり、乾燥していった。油紙の上敷きを敷いて熱を逃がさないようにする。これで完成であった。母は生乾きの洗濯物をよく温突部屋の床に並べて乾かしたりした。外は吹雪いて窓がカタカタと鳴っていても朝鮮独特の部屋は暖かく、とくに足腰から包まれるので学校からの宿題などはよく出来た。気が付くといつの頃からか、部落の青年たちの集会場にもなっていた。母はドブクロを造って生計を立てることが出来た。青年たちは「アリラン」を中心とした母国の民謡をよく歌ったが、その声は屋外に洩れることはない小さな歌声であった。しかし、半島をはるかに越えて来た者の息づかいがその温突部屋に渦巻き溢れていた。やがてその部屋は、日本帝国の植民地から解放される1945年の日本の敗戦迄の、朝鮮人青年達の秘密の集会場と化していくのであった。時は折しも関東大震災の17年後のことで、場所は兵庫県西部の造船所のある山間の漁村であった。

演じられたコロナウィルス流行熱：大規模な国際犯罪的謀略

コロナウィルス、ケムトレール、ワクチン、および5G
世界歴史で最も慎重に計画され、高度に組織化された、人口削減計画

京都大学名誉教授・FPU京都会長 渡辺 久義

【訳注 Greatchain】

これはSOTN (State of the Nation) の記事でも、いよいよ正念場と考えて差し支えないものであろう。(これはデー・ウィグントンについても言える。) 5Gについて、またその5Gがコロナウィルスとどう関係するのかを、知っている人は少ないと思う。非常に複雑な、この新しい機器(兵器)についての思惑違いのようなことが、武漢を中心として世界的(国際的)に起こり、そこからコロナウィルスが、「公の健康危機を隠すために」広がったようである。これは中国とアメリカと、究極的にはイスラエルから、さらにその先まで絡み合っ、て、「巨悪」を中心とする大戦争になるように思われる。

SOTNのこの記事は、この数倍もあり、彼の言っているアップデートを含めると、どこまでも広がると思われる。しかし彼の記事は、取り留めもなく広がるのではなく、その中心、あるいは核心をもっている。これによって読者は目が開かれ、自分が今どこにいるかがわかる。これは、このサイトを最も強力なものとし、かつ最も危険なものとしている。

SOTN

February 13, 2020

武漢のコロナウィルス流行熱は、2019年武漢市における強力な5Gの発表によって起こされた、公の健康危機を隠すために、演じられたものである。



特別ノート：あらゆる生物兵器専門家、医学研究者、生物操作科学者、それに調査ジャーナリストにとって、最も肝要なことは、この地球的な人口削減計画と、大きな地球管理に向かう動きの、本当の複雑さを理解することである。これが、次の広範囲な報告が非常に長い読み物になり、連続するアップデート更新が更になる理由である。武漢のコロナウィルス流行熱は、実は、広範に絡まり合った一連のブラック作戦で、それは、いくつものレベルで、それぞれが多数の層をもち、異なった次元とあらゆる大陸において、起こりつ

つある。これは5次元チェスではない、12次元チェスである。それは何十年もかけて、まさにこの時期を狙って計画されたものである。この正しい理解があって初めて、人々は、目的が交錯しながら動いているように見える、さまざまな密かな作戦が、実はいかに、同じ計画者たちによって監督されているかを、理解できるようになるだろう。

下に解説する最も重要な説明でも、そのあるものは互いに反するように見えるかもしれない——そうではない。最も放射性をもつ情報/データのあるものは、予見可能な未来を知らせるものとして、やっと今になって、我々にEメールされつつある。結局のところ、時間が経てばたつほど、さらに難しい真実が表面に現れてくる。したがって、このページの下、随所に掲載されている「アップデート」にこそ、最新の、最も敏感な情報が含まれている。ここで最後の注意点は、「演じられた」stagedと言っているのは、「ニセモノの」という意味ではない。それは、この作戦の多くの部分が、目標となる民衆に対して最大の効果をもつように、構成され実行されている、という意味にすぎない。

質問：——生物操作によるコロナウィルス流行熱は、5Gの世界的な軍事展開をさらに容易にするために、地球規模で、意図的に拡散されているのだろうか？

この肝心の質問に対する答えが、この惑星のすべての人々にとって、最も重要である理由は、この土地全体において、5Gという「(すべてを繋ぎつづす) ジャガーノート」が、どれくらい強力に作動しているかが問題だからである。

我々はみんな、彼らが何か大きな——非常に大きな——ことをやろうとしていることを知っていた。しかし、武漢のコロナウィルス、5G、強制ワクチン接種、それに、ケムトレールを利用する急速に展開する人口削減シナリオは、どんな標準から見ても、全く野心的である。

5Gの発表

New World Order アジェンダを世界的に実現するのに、奇跡的な5Gの軍事的展開と、それに続く「モノのインターネット」(IoT)の構築以上に、神聖なものはない。

平和統一聯合

Federation for Peace and Unification

実際、この馬鹿々々しく不可能なプロジェクトは、「一世界秩序」をひそかに実現しようとする邪悪な NWO の陰謀の、頂点を象徴している。

<http://themillenniumreport.com/?s=one+world+government>

にもかかわらず、NWO グローバリスト陰謀団は、完全に狂気となって、彼らの長く計画していた「グローバル・コントロール・マトリックス」を建設するためには、どんなことでもやろうとしている。これは、十分に稼働する 5G エネルギー・グリッドを、十分に機能する「モノのインターネット」の条件として要求するものである。

武漢市は、2019 年に、公的な 5G デモンストレーション地帯として、設立された。中国政府は、この大都市をショーケースとして、5G エネルギー・グリッドが、無線 IT ユーザーに提供することになっている、すべての“目を奪う”成果として計画していた。それから彼らは、武漢市を「モノのインターネット」の看板都市として、設定する計画をした。

「武漢市は、2019 年の終わりまでに、1 万台の 5G 基地ステーションを稼働させる予定だった」

<http://stateofthenation.co/?p=5697>

これについて間違っているはいけない：——武漢のような大都市で、大きな 5G エネルギー・グリッドを活性化させることは、不可避免的に、健康と環境に**すごく大きな影響**を与えるだろう。

彼らが武漢の 5G のスイッチを入れた瞬間、その人々の全体が、直ちに、肉体的に有害な電磁波周波数と、マイクロ波放射エネルギーに曝された。

実を言えば、有効な 5G のパワー・グリッドをパワー・アップするのに必要な、特殊な無線周波数の signal range と、マイクロ波の放射能出力は、人間の健康にとって、全く安全性がなく、危険であることがよく知られている。〔このあたり訳者は解せず〕

米軍情報部レポートは、政府が、5G Radio-frequency Ranges と、Microwave Radiation が、人間の健康にとって有害であると知っていたことを、明らかにした。次のように——：

<http://themillenniumreport.com/2019/08/military-intel-report-proves-government-has-kno-wn-5g-radio-frequency-ranges-microwave-radiation-are-harmful-to-human-health/>

米軍が、科学的に、5G（だけでなく 4G、3G）に関連した健康への有害効果を記録しているだけでなく、米連邦政府は、数十年も前から、これら多くの健康への危険について知りながら、ウソをついていたことを証明する、固い証拠をもっている。次のように：—

確実な証拠によって、アメリカ政府は、5G についてウソをついていたことが証明された。海軍の研究報告は、多くの健康への危険があることを確認している。

<http://stateofthenation2012.com/?p=123687>

ここから我々に分かってくることは、ただ一つ、最も危険な、5G すなわち **Kill Zone** の軍事的な配置が行われているということである。

公的な文書で見ることでできる科学的な証拠のすべてが、今、明らかにしていること——それは、5G インフラが最も集中して発見され、最も強力な EMF と microwaves が発生している所では、どこでも、**5G Super-Hotspots** が「キル・ゾーン」として、効果的に機能しているということである。このように：—

5G スーパー・ホットスポット：「キルゾーン」がどこにあるのか、知っておくべきだ！

<http://stateofthenation2012.com/?p=121694>

高度に破壊的で、恐ろしいポテンシャルをもつ、これら急速に現れつつある **5G スーパー・ホットスポット** を十分に理解するためには、次のビデオ暴露記事が、これら 5G キル・ゾーン内部にある、最も強力な「方向指定エネルギー兵器」を示してくれるだろう。

5G 兵器：Microwave Radiation テクノロジーが、人口削減戦争、全スペクトル制圧、それに全人類コントロールとして、配置されつつある（ビデオ）

<http://stateofthenation2012.com/?p=121694>



恐怖のイスラエル製 5G

イスラエル：5G 発表の世界本部

ところで、いま現在、策謀の闇は深まっている。

シオニスト・イスラエル政府は、今、世界の国家共同体すべてを通じて、5G の軍事配置を指令することを、地球的なミッションとして出している。

計画された One World Government と将来の首都はイスラエルだから、支配しているシオニストたちは、彼らが現在、アメリカでそうしているように、全 G の展開を支配しなければならないことを知っている。ドナルド・トランプ大統領よりも大きな、5G のプロモーターはいない。これこそ彼が、アメリカでの 6G の発表を待つことができないとさえ、誇らしげに話した理由である！

ところで、この狂信的な 5G の展開と、IoT（モノのインターネット）の建設のすべてが、密かにテルアビブによって監視されている事実は、なぜ 5G が、イスラエルでは許可されないのかという返答を要求する。

答え：5G は、それが開発されていたイスラエルでは、許可されない理由

<http://themillenniumreport.com/2019/03/heres-why-5g-is-not-allowed-in-israel-where-it-was-developed/>

現れてきた New World Order において、イスラエルが演ずる肝心の役割を、正確に理解するただ一つの方法がある。このならず者、犯罪国家、アパルトヘイト国家イスラエルは、**ハザール・マフィア**（Khazarian Mafia）司令部のための、地球的本部として、文字通り創られたものである。

イスラエルは正確に言って、20 世紀の歴史を通じて、どのように設立されたのか？

その答えは：アメリカの民族抹殺、

第一次世界大戦

スペイン風邪の民族抹殺

大恐慌

第二次世界大戦

ホロコースト

9・11 テロ攻撃

それにテロとの戦い、

そのすべてを通じ、

そのすべてが一つの共通点をもっている：

イスラエルのシオニズムである。

これこそ全面的真理である：——「上にリストした地殻変動的事件の一つひとは、現代のイスラエル国家を創るために、密かに実行したか、そして/または、「大イスラエル計画」を隠れて大きく進展させるためのものである。」（ソース：「トランプの中東平和計画の背後の隠れたアジェンダ」）

——以上

錦山 文潤國先生の詩

安分一生

안분일생



平明送客出荊門
長夏蠶業遍一村
綠陰繁處人爭醉
重霧蔽時日欲昏
知機萬事忘憂患
安分一生穩夢塊
僻處一隅知己少
陽春妙曲向誰論

평명송객출형문
장하잠업편일촌
녹음번처인쟁취
중무폐시일욕혼
지기만사망우환
안분일생온몽혼
벽처일우지기소
양춘묘곡향수론



어떻게 지기를 얻을까

방과 마루를 물뿌려 청소하고 사방의 문을 열어 놓으니
밖에는 눈부시게 밝고 맑은 태양이 강촌을 비추고 있네
사람들의 마음은 자기만을 위하느라 온통 흐리고 착한 것을 잊었으며
세상의 물결은 온 국민의 공정한 도의를 멸하고 온통 어둡게 되었노라
나는 산에 올라 사안의 즐거움을 본받고 배우려하고
물가에 가서는 억울하게 죽은 굴원의 혼을 부르노라
어떻게하면 종자기와 백아같은 지기를 얻어
시와 음악을 논하고 우주 천지의 뜻을 터득하랴.

どのようにして知己を得るか

部屋の床を水分散させてきれいにし、四方の扉を開けておいたら
外に眩しく明るく綺麗な太陽が江村を照らしている。人の心は自分だけの為に
各地で曇り優しいことを忘れてしまった。
世界のみすばらしい姿は、国民の公正度を減らし、世界中を暗くさせる。
水辺に行っては無念に死んだ屈原の魂を呼び
どのようにすればジョンジャギと白亜のような知己を得て
詩と音楽を論じて宇宙天地の意味を体得しようか。

「海洋時代の為に」

FPU兵庫 渉外部長 金 豊 鎬

「潜水艦」は、どうやって沈んだり浮いたりする？

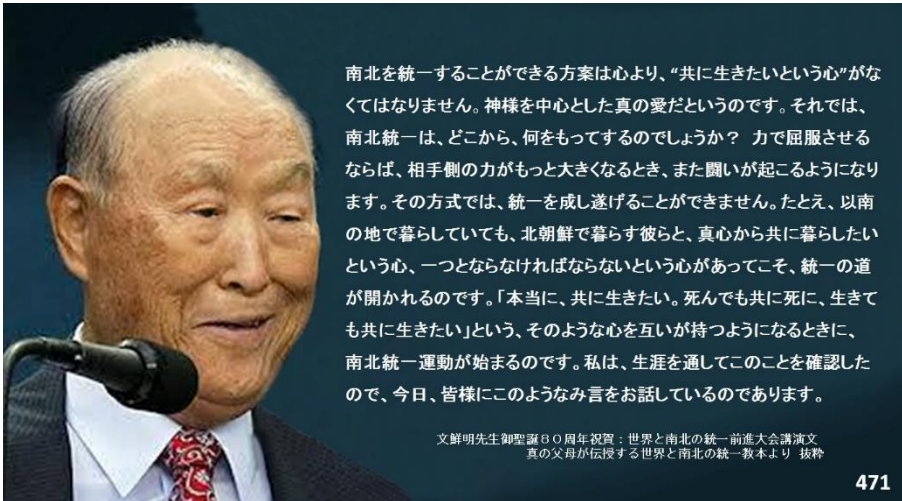
潜水艦は、海に潜っては海上に浮き上がる。自在に浮き沈みできるわけだが、それには圧縮した空気と海水が巧みにつかわれている。

潜水艦の船体外壁は、二重構造になっている。二重構造の外側と内側のあいだはタンクスペースになっていて、そこがおもりのもなれば、浮きとしての役割も果たしている。

潜水艦が洋上で活動しているときは、タンクスペースには空気が入っている。空気が浮きの役目をはたし、潜水艦は海上に浮いていられるのだ。

いっぽう、潜水艦が海中に潜るときには、タンクスペースに海水が取り込まれる。重みを増したタンクスペースがおもりの役割を果たし、潜水艦は海中に沈んでいく。

ふたたび、潜水艦が洋上に浮き上がるには、タンクスペースから海水を吐き出し、空気を取り込めばいい。そのため、潜水艦内部には、圧縮空気室が用意されている。圧縮空気室からタンクスペースに空気を注入すると、海水が吐き出され、タンクスペースが浮きの役割をはたして、潜水艦は浮上していくというわけだ。



『千字文』と韓国語〔44-1〕曹小煥

得	能	莫	忘
얻을 득	능할 능	말 막	잊을 망
とく・う	のう	ばく・ぼ	ぼう
える	よく	なかれ	わすれる

とくのうばくぼう＝のうをえてはわするることな
かれ。と読み、大切なことを学んだら忘れるな。

重要なことを会得してしまったなら、その心を大切に忘れずにせよ。

『孝経』（事君章）に、「心して之（これ）を学ばざれば何（いず）れの日にか之（これ）を忘れん」と言う。

・孔子の弟子の子夏が兄弟子の子貢の家にやって来たとき、子貢は彼に三つの「忘」を語った。「若いときに学んだことを老いて忘れる。これが（一）。「良き友人と年老いて仲が絶える、これが（二）。「高位になると、下位の時の事を尊ばない、これが（三）。子夏は「なるほど」と言った。後日、この話を聞いた孔子は「学則不固」学べば則（すなわ）ち固ならず。〔『論語』学而〕と語った。学問をすれば頑固でなくなるの意である。

得…とく、える、利益、徳とする
能…のう、できる、はたらき、よくする
莫…ばく、ぼ、なかれ、むなしい
忘…ぼう、わすれる

編集後記

■「韓国となぜ仲良くできないのか」誰が仕組んだのか、いつまで続くのだろうかとうんざり辟易しながらの毎日である。今、日本と韓国の関係は最悪である。日本人は性格が良くて韓国の人は悪い？そのようなレベル（まなざし）で隣の国を見ているとしたら？世界にとって看過しがたいし、「朝鮮半島に対する誤解や偏見をなくすことは日本人にとってもプラスになるはずだ」と強調したい。苛酷な植民地支配の歴史の中に生じた「在日」の存在を忘れてはならないからである。祖国、私がそう呼ぶとき、かすかな躊躇（ためら）いが私の中で呼吸する。日本で生を受け数え年で言うと八十八才である。私の母は朝鮮人集落（部落）の片すみで造船所帰りの職工達にどぶろくを売っていた。在日一世としてのその母のおかげで私の成長があった。近頃やたらに、父と共に海を越えた母の異国（日本）での長い歳月に刻まれた皺（しわ）が思い出されてならない。「在日」・・・それはどの人も日本と二つの祖国が歩んできた現代史の狭間で、祖国へ帰れずに戸惑い苦しみながら、懸命に生きて来た皺であったことがやっと今、分かったのである。そして、この母の皺の中に日本と韓国（朝鮮）の仲良くなる秘密が隠れているのではと思うのである。（曹）

■最近、全世界が新型コロナウイルスによって振り回されている。新しい感染症のウイルスによって世界が恐れおののいている。エボラ出血熱・サース・マーズ、そして新型コロナウイルス。新型コロナウイルスは、一瞬にして全世界に広がった。それだけ世界が近くなったということである。人類が望む平和の前には国境と言う壁が立ち上がるが、人類が望まないウイルスは国境に関係なく広がってしまう。皮肉なものである。全世界の人類が望む本当の平和と言うものが、早く全世界に広がってほしいものである。（樹）

機関紙 月刊『平和統一 NEWS』

＜編集委員会＞

委員長 文 聖 純
副委員長 曹 小 煥
編集局長 福田 秀 樹
編集委員 金 男 淑
編集委員 金 豊 鎬
編集委員 廣瀬 純子



COREA

平和統一聯合

Federation for Peace and Unification

投稿記事募集

交流の広場への投稿記事を
募集しています。

FAX.078-367-4323

E-mail:

hyougo-2017@fpuhg.main.jp